

平成25年度（2013年度）第1学年4月入学選抜検査

適性検査Ⅱ

平成25年（2013年）2月3日（日）実施

注意

- 1 指示があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は5ページあります。問題用紙のあいているところは自由に使ってかまいません。ただし、問題用紙に書いたものは採点されません。
- 3 解答用紙は1枚です。解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 4 適性検査Ⅱの検査時間は45分間です。
- 5 声を出して読んではいけません。
- 6 問題用紙には受検番号と氏名を、解答用紙には受検番号を記入してください。
- 7 問題についての質問は受けません。
- 8 問題用紙を持ち帰ることはできません。解答用紙といっしょに提出してください。

受検番号	氏名
------	----

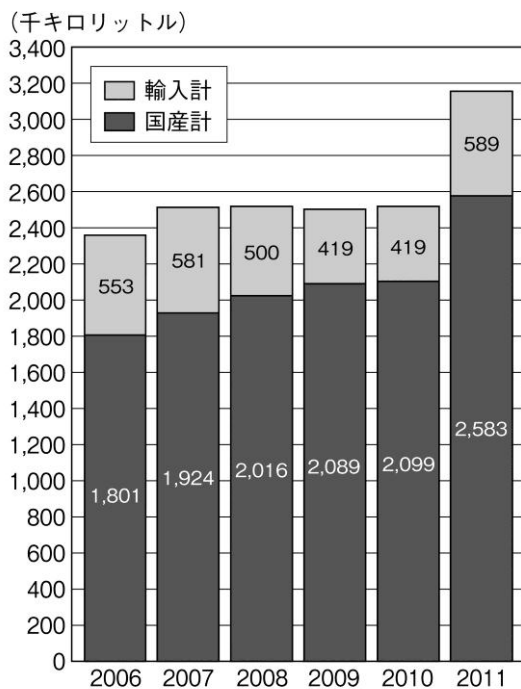
東京学芸大学附属国際中等教育学校

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL

「水」は、生活していく上で必要不可欠なものです。飲料水や、風呂・洗濯などに使う生活用水はもちろん、農業や工業など、普段目にしないところでも、たくさんの水が使われています。この「水」に関わる問いに答えなさい。

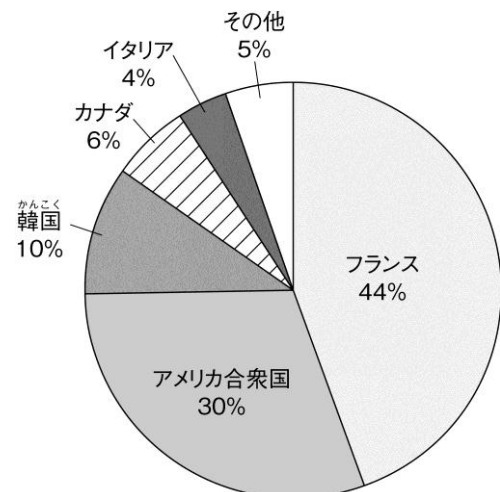
問1 飲み水として、水道水のほかに、ペットボトルに入れられた飲料水（ミネラルウォーター）が使われています。日本におけるペットボトル飲料水の利用について、どのようなメリット（利点）とデメリット（問題点）があると考えられますか。〔図1〕,〔図2〕および〔資料〕をもとにして、書きなさい。

〔図1〕 日本のミネラルウォーター販売量
(2006年～2011年)



日本ミネラルウォーター協会調べ

〔図2〕 日本のミネラルウォーターにおける
輸入国別の内訳 (2011年1～12月)



2011年1月～12月輸入ミネラルウォーター総量
: 約589千キロリットル

日本ミネラルウォーター協会調べ

〔図1〕と〔図2〕は、サントリーのウェブページの「サントリー ニュースリリース」No. 11487をもとにし、問題作成のため一部改変しています。

【資料】 ペットボトルの販売を禁止、オーストラリアの町

オーストラリアのニューサウスウェールズ州にあるバンダヌーンという人口 2000 人の町が、
環境への影響を考慮して、ペットボトル入り飲料水の販売を禁止した。

こうした試みは世界初とみられる。地元商店街も、ペットボトル飲料水の取り扱いを中止することに合意しているという。

この背景には、飲料メーカーが、バンダヌーンでくみ上げた地下水をシドニーでボトル詰めし、再びバンダヌーンに輸送して販売するという計画を発表したことがあげられる。

地元の環境活動家は、「今回の出来事がきっかけで、住人たちの目が、ペットボトル飲料水の環境におよぼす影響に向いた。」と言う。また、「バンダヌーンの決定を知った人びとが、ペットボトル飲料水を買うことについて考え直してくれることを願っている。」と話した。

ペットボトル飲料水をめぐっては、ペットボトルの材料であるプラスチックや輸送のための燃料など、資源をむだに使っていると環境団体などが指摘している。ニューサウスウェールズ州での研究によると、ペットボトル飲料水に関する産業が 2006 年に排出した温室効果ガスは 6 万トンにも上るといふ。

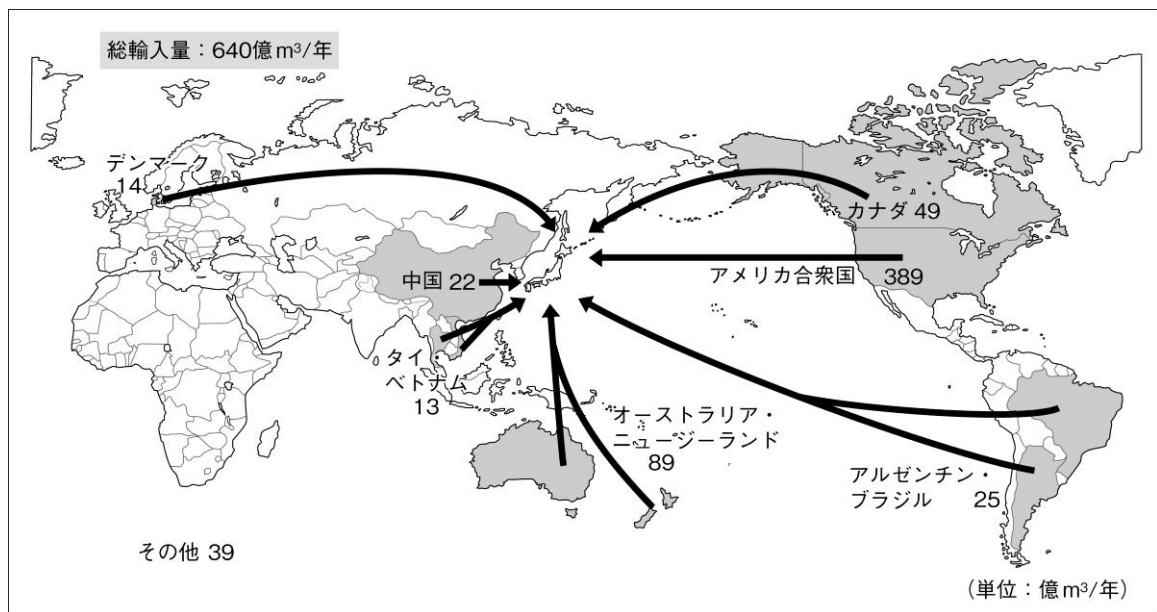
【資料】は、AFP のウェブページ（2009 年 7 月 9 日）をもとにし、問題作成のため一部改変しています。

問2 水資源に関する〔図3〕～〔図5〕と、日本の輸入相手国を示す〔表〕を見て、あとの問いに答えなさい。

- (1) 穀物や畜産物ちくさんぶつを育てたり、食品を加工したり、工業製品をつくったりするには、たくさんの水が必要です。これらの品物を輸入するということは、その生産に使われた水も輸入しているのと同じことだと考えられます。この水のことを仮想水（バーチャル・ウォーター）と呼びます。

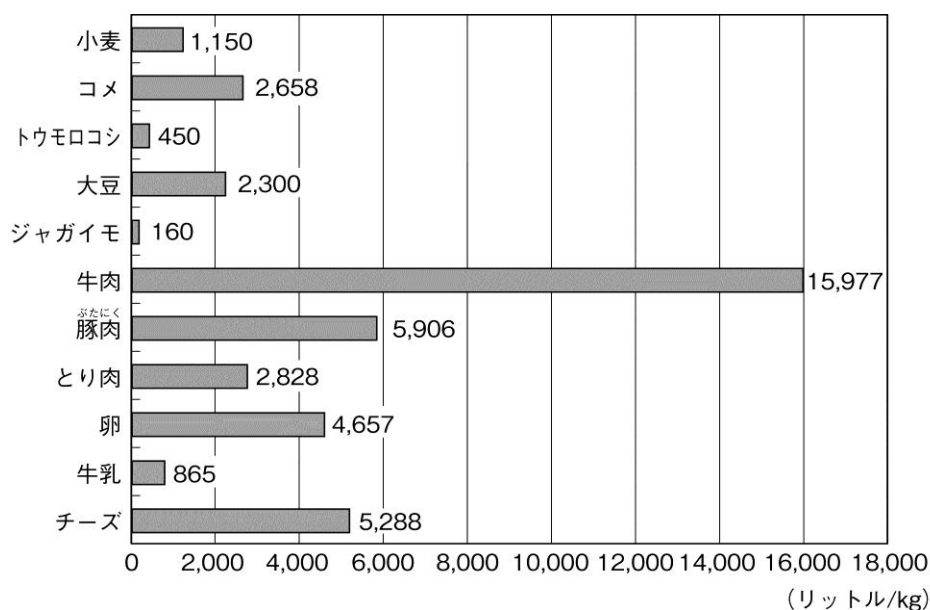
〔図3〕から読み取れることを、〔図4〕と〔表〕も関連づけて説明しなさい。なお、それぞれの〔図〕や〔表〕をどのように使ったかがわかるように書くこと。

〔図3〕 日本の仮想水（バーチャル・ウォーター）輸入量（2000年）



〔図3〕は、ニッセイのウェブページ「ニッセイアカデミー 役立つデータクリッピング」、JICAのウェブページ「DATA BOOK 2010」（いずれも出所は東京大学生産技術研究所おき沖研究室）をもとにし、問題作成のため一部改変しています。

〔図4〕 主要農産物1kgの生産に必要な水量



〔図4〕は、UNESCO「Water - a shared responsibility」(2006年3月)をもとにし、問題作成のため一部改変しています。

〔表〕 日本の輸入相手国上位10か国(2000年)

順位	国名	輸入額(億円)	輸入総額に対する割合(%)
1	アメリカ合衆国	77,789	19.0
2	中国	59,414	14.5
3	韓国	22,047	5.4
4	台湾	19,302	4.7
5	インドネシア	17,662	4.3
6	アラブ首長国連邦	15,996	3.9
7	オーストラリア	15,959	3.9
8	マレーシア	15,627	3.8
9	サウジアラビア	15,313	3.7
10	ドイツ	13,719	3.4

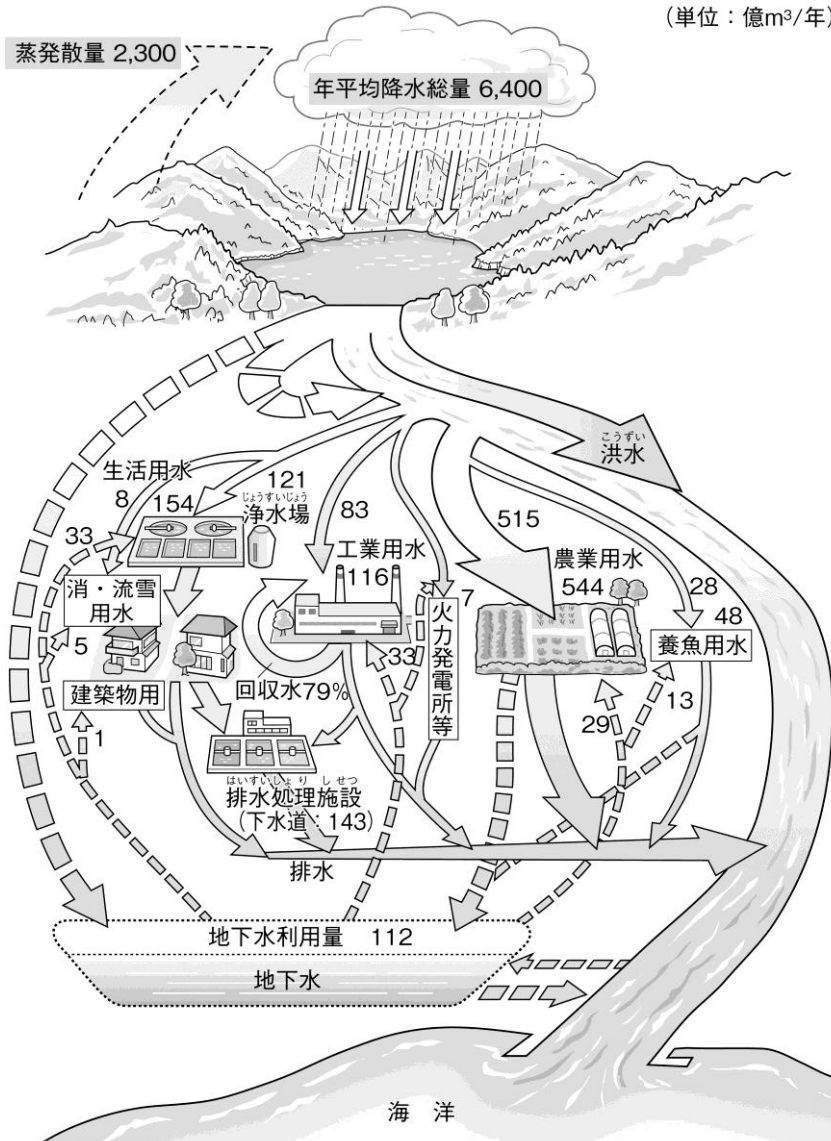
〔表〕は、水だけでなくすべての輸入品に関する相手国を示しています。財務省のウェブページ「財務省貿易統計」をもとにし、問題作成のため一部改変しています。

(2) 日本における水の利用にはどんな問題がありますか。〔図3〕～〔図5〕から読み取ったことをもとに問題点を挙げ、その具体的な解決策とともに300字から360字で書きなさい。

なお、〔図3〕～〔図5〕のすべての〔図〕を使うこととし、どの〔図〕をどのように使ったかがわかるように書くこと。

〔図5〕 日本の水の収支

(単位：億m³/年)



注： それぞれの数値のもとになった資料や年度が異なるため、計算の合わないところがあります。また、四捨五入の関係で計算が合わないこともあります。

〔図5〕は、国土交通省水資源部の作成の「日本の水資源」(平成24年度版)をもとにし、問題作成のため一部改変しています。